

学びの改革実践校応援事業

学びの改革支援課

1 学びの改革とは

これまでの学校における学び

- ・教師主導による画一的、一斉一律の教育
- ・知識及び技能習得型の教育



これからの学校に求められる学び

- ・子ども主体の自律した個の学び
- ・子どもの資質能力に個別最適化した学び
- ・課題解決型の探究的な学び
- ・子どもや地域の実態に応じた多様なアプローチ

2 事業の狙い、事業内容

- 改革をモデル的に実践する学校として25校を指定し、取組推進のための支援を実施
- 学びの改革の成功事例を創出し、その成果を広く普及することで、他校の自発的な取組を促す

先進事例紹介	県外の先進事例や視察先として適切な学校等を紹介
連携促進	他校・他市町村との関係を取り持ち枠を超えた連携を促進
アドバイザー派遣	県が選任した有識者や専門家、他都道府県の実践者等をアドバイザーとして派遣 アドバイザーの役割:各校の課題に即した指導・助言等 各校の取組の効果を評価し価値づけ
情報発信	実践校の取組をSNS等で発信 実践校に対する理解と支持を広げるとともに他校における自発的な取組を促進

【今後の展開】

R2	R3	R4	R5～
25校(実践校)	市町村での継続的な取組継続		
	25校(実践校)	市町村での取組	
		25校(実践校)	市町村での取組
実践校の取組の普及、情報発信等により、独自に取組を進める学校の増			

※実践校への支援は原則1年目のみ。以降は各学校及び市町村教委で取組を継続する。

3 実践校の取組事例

学校名	具体的な取組
長野市立 東部中学校	生徒の主体性と自治による学び ・学年担任制を実施し、複数の教員がそれぞれの視点から生徒の成長をチームとして支援 ・生徒たちが学力向上のための組織を立ち上げ放課後学習の場を創出
木曾町立 三岳小学校	ICT活用による小規模校連携 ・単元内自由進度学習やタブレットを用いたAIドリルを取り入れ、個別最適化された学びを創出 ・王滝村と市町村の枠を超えてICTを活用した遠隔合同授業を実施
千代田区立 麴町中学校	常に「目的」を意識し学校の「当たり前」を変える ・点数を取るため定期考査を廃止し、学習内容の定着を確実に測る方法へ ・「1人の担任のせい」にせず、チームとして生徒に関わる全員担任制の導入

4 令和2年度予算額

323万9千円